

令和6年度第2回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和6年11月26日(火) 午後3時～午後4時
- ・ 場 所 埼玉教育会館201・202会議室
- ・ 出席委員 13名
 - 【被保険者代表委員】
長島委員、飯盛委員、東海林委員、谷口委員
 - 【保険医又は保険薬剤師代表委員】
小室委員、宮野委員
 - 【公益代表委員】
逢澤委員、城下委員、伊藤委員、横山委員
 - 【被用者保険等保険者代表委員】
増尾委員、榎原委員、菅本委員

1 議事(1) 令和7年度国民健康保険事業費納付金等の秋の試算について

<事務局>

- ・ 資料1により、令和7年度国民健康保険事業費納付金等の秋の試算について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ マイナ保険証の利用を基本とする制度が始まるが、資格証明書、短期被保険者証の扱いはどうなるのか。
- ・ 特別療養費の対象者が必要な医療を受けられるよう国から通知があったが、しっかり市町村に周知してほしい。
- ・ 保険税が毎年上がることを危惧している。
- ・ 他の医療保険から国保への財政支援はあるのか。
- ・ 協会けんぽでは、年間予算の約10分の1となる1兆2,000億円を前期高齢者納付金として負担している。
- ・ 県は保険税が上がることについてどのように考え、市町村に対してどのように説明しているのか。

2 議事(2) 令和5年度埼玉県国民健康保険事業特別会計決算について

<事務局>

- ・ 資料2により、令和5年度埼玉県国民健康保険事業特別会計決算について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ 国保特会における国庫支出金の割合は何%か。
- ・ 市町村の判断で法定外一般会計繰入金を繰り入れることは、違法ではないという理解で良いか。

3 議事（3）赤字削減・解消計画の実施状況について

<事務局>

- ・ 資料3により、赤字削減・解消計画の実施状況について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ 資料3の令和5年度までの削減額と変更後計画の今後の削減予定額を合計すると計画対象赤字額を超過するが、この差は何か。
- ・ 特定健診の受診は、健康増進による医療費の縮減と国の交付金増額に効果があるため、赤字解消に続き、保険税の値下げにもつながることを広報しても良いのではないか。
- ・ 他市町村の保健事業の好事例を取り入れやすくするため、各市町村は、実施している保健事業について、もっと情報発信するべきである。
- ・ 特定健診受診率向上のため、かかりつけ医が特定健診を実施する取組を一部の医師会において始めている。
- ・ 後発医薬品の数量が不足している一方、高価な新しい薬がたくさん出てきているため、従来の安くて良い薬をたくさん作る必要があると考える。
- ・ ポリファーマシー対策など、医療費適正化の面ではどのような取組を実施しようと考えているか。